

競 技 上 の 注 意

東北総合女子

1 競技規則

- (1) 本大会は、2026年度オフィシャルソフトボールルールを適用する。
- (2) 7回終了時同点の場合は、8回からタイブレークにより試合を継続する。
- (3) 捕手は、準備投球のときスロートガード付きマスクを着用すること。捕手以外の選手が捕球するときも同様とする。また、競技場内のブルペンで投球するときも着用すること。投球練習は、危険防止のため一組とする。
- (4) 抗議（プロテスト）は、監督又はそれに代わる者に限る。

2 申し合わせ事項

- (1) 選手の集合時刻は、試合開始予定時刻の30分前又は前の試合の4回終了時までとし、当該球場に集合すること。
- (2) 打順表の記入と提出については、試合開始予定時刻の30分前又は前の試合の4回終了時に、予め配付された打順表（5枚一組）にすべて必要事項を記入し、当該球場本部に提出すること。打順表に記載のない選手は、試合に出場することができない。ベンチ入りするトレーナー、通訳等の氏名及び役割も打順表に記載すること。なお、選手だけでなく監督・コーチにもふりがなを記入すること。
- (3) 試合当日の早朝から雨天等で開催が難しい場合は、各チームは待機して主催者の判断を待つこと。予備日がなく、改めて集まるのが難しいため、極力、試合を行うことを原則とする。
- (4) ベンチに入れる選手数は25名以内とし、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。指導者資格の確認は、競技役員が各試合のベンチに入る際に指導者登録証と身分証明書（顔写真付き）で確認する。記録員は登録カードで確認する。
- (5) 大学の引率者1名（部長又は顧問）は、ベンチに入ることができる。
- (6) 前の試合が開始予定時刻よりも早く終了しても、次の試合は原則として開始予定時刻に開始するものとする。
☆天候等によっては早める場合もある。開始時刻の確認をする。
- (7) 連続試合（ダブルヘッダー）となる場合は、次の試合までの準備を考慮し、ベンチ入りを前の試合終了30分後までに完了するものとする。
- (8) 競技用具は危険防止のため、審判員が試合前に規格、損傷の有無を確認する。
- (9) バット及びヘルメットは、規格外や安全性に問題があるものは使用を認めない。
- (10) 試合前の練習は指定された地域で行い、試合に支障がないようにすること。
- (11) 試合開始前（ベンチ入り後）の練習は、ファウル地域及び外野部分において行うことはできるが、投球練習及びキャッチボールとする。
- (12) チーム及び選手の応援は、フェアプレーの精神やマナーを遵守して行うものとし、鳴り物による応援は禁止する。
- (13) 監督が審判員に選手交代や抗議などをするときには、サングラスを着用しないこと。
- (14) ベンチ内に競技用具以外の物（自前の椅子など）は、持ち込まないこと。
- (15) 決められた場所以外での喫煙は、禁止する。 ※会場は全面禁煙となっている。
- (16) 今大会での選手紹介は、運営時間短縮の観点から、フィールドイング中に行う。
- (17) その他必要なことは主催者において判断するが、原則として（公財）日本ソフトボール協会の「競技者必携」に従うものとする。
- (18) 試合前に、ロジンバッグを各チームに渡すこととする。
※自チームが用意したロジンを使用する際は、審判員の点検を受けること。
- (19) ゴミ等は、各チームで持ち帰ること。